

## 会場での討論

Q1: どうして気管内に異物が入ったのだろうか？ 喉頭麻痺などがあったのだろうか？

A1: 単純に吸引であったと考えています。再問診では、どうやらちょうど震災時に外出しており、その頃に咳症状あり、それから呼吸困難が悪化してきたとのことでした。軽くかじっていたときに大きな地震に合い思わず吸引したものと推測しております。

Q2: 声帯などで一度ひっかかって抵抗が生じるようなことはなかったか？

A2: 動画で示したとおり、異物をキュレットで移動すると一度声帯に引っかかりました。しかし、キュレットをうまく回転させつつ異物の角度を回転させて喉頭外に摘出できました。

Q3: 咳は本当になかったのか？

A3: 問診にて、どうやら発症当初の3日間位はしきりに咳をしておりましたが、その後は呼吸困難のみが進行し、食欲低下し、最終的には、著明な吸気努力と食欲廃絶に至ったということです。

Q4: 麻酔管理は？

A4: ラリングルマスク設置下に自発呼吸を維持し、プロポフォール持続投与で管理しております。

Q5: キュレット操作で気管粘膜を傷つけるようなことはなかったか？

A5: この処置の全行程は気管支鏡観察下に行っており、キュレットの角度や方向はそれを見ながら慎重に操作しております。もし、気管を余計に刺激したりすれば咳が生じるだろうし、出血が生じれば内視鏡でただちに察知できます。異物回収後、確認のため気管支鏡で再度気道内を観察しましたが、粘膜に傷害はありませんでした。